教科目名　地理　(Geography)

学科名・学年　：　全学科　３年
単 位 数 な ど　：　必履修　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 45 時間）
担 当 教 員　：　村田剛一

授業の概要
世界の各地域について自然地理学的および人文地理学的に学び, 地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する.

達成目標と評価方法	大分高専目標(A1)
(1)世界の各地域の特性を，自然と人文の関わりの中で理解する. (2)世界の中の日本の立場と役割を理解する.	

回	授　業　項　目	内　容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	世界の地形 大規模な地形をつくる地殻変動 山地の地形 平野・高原の地形 海岸の地形 世界の気温と降水量 大気大循環と気候	○大陸や大洋の地形について理解できる ○プレートテクトニクス理論、古期・新期造山帯、安定陸塊について理解できる ○山地の地形，侵食平野・堆積平野などについて理解できる ○気候要素・因子，大気大循環，偏西風・貿易風・極風，大陸性・海洋性・東岸・西岸気候などについて理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 水の循環と海洋 アメリカの自然環境 アメリカの住民と文化 アメリカの経済と産業 アメリカの社会と生活 世界の気候区分、熱帯の自然環境	○地下水、海流の名前・分布・影響などについて理解できる ○アメリカの各地域の地形・気候の特色を理解できる ○アメリカの住民構成・殖民の歴史・人種・民族，そして，各地域の産業・農業・社会生活について理解できる ○熱帯の気候地域について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	乾燥帯の自然環境 温帯の自然環境 冷帯・寒帯の自然環境、 気候と土壌 中国の巨大な人口と自然環境 中国の農業と日本との結びつき 中国の工業地域の分布と工業発展	○乾燥帯・温帯・冷帯・寒帯の気候地域について理解できる ○気候・植生・土壌などの対応関係を理解できる ○中国の人口増加・地形・気候について理解できる ○中国の農業の変遷・工業の発展・日本と中国の交流について理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 宗教と言語の文化から読み解く世界 現代世界の民族・領土問題 民族・領土問題の背景 日本の領土と領土問題 日韓関係、韓国の自然と生活・文化 韓国の経済と都市、今後の日韓関係	○世界の様々な宗教・言語、宗教・言語の世界的分布について理解できる ○民族と国家領域、排他的経済水域について理解できる ○日本の領土問題（北方領土・竹島・尖閣諸島）について理解できる ○韓国の地形・気候・伝統文化・産業・日韓関係について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	しっかり復習すること.	【総合達成度】
教　科　書	『詳解地理Ｂ』『詳解現代地図』、山本正三ほか著，二宮書店.	
参 考 図 書		
関 連 科 目	現代社会（１年），政治・経済（１年），日本史（１年），世界史（２年）.	
総 合 評 価	定期試験により評価する．評価が６０点以上を合格とする.	【総合評価】　　点